

個人視察報告書

視察報告議員 馬見塚 剛

【視察期間】 令和7年8月26日（火）～28日（木）

【視察地】 兵庫県姫路市

【視察日時】 8月26日（火）

【調査項目】 「校内サポートルーム」について

【調査概要及び所感】

姫路市が「校内サポートルーム」を設置した経過としては令和6年度より実施しており、不登校傾向の児童生徒のための学校における「心の居場所」として、学校の余剰教室を利活用し、改修し児童生徒が教室復帰を目指し設置された。現在では市内小学校51校、中学校35校に設置されている。

姫路市の不登校の児童生徒数は、全国平均をやや上回っており、喫緊の課題となっている。成果として、「学校に全く来られなかった生徒が校内サポートルームを利用することで登校できるようになった」など一定の成果もある状況となっている。課題として不登校児童に対応する支援員の充実などの課題もあるとの報告を受けた。

本市においても今後の不登校対策の参考となる視察となった。

【視察地】 静岡県浜松市

【視察日時】 8月27日（水）

【調査項目】 「ドローン専用航路」について

【調査概要及び所感】

浜松市の「ドローン専用航路」の視察では、新たな空のインフラとして、世界初となる「ドローン航路」を天竜川水系上空に整備し、より安全性・効率性の高い「ドローン航路」を活用し、様々なサービスの社会実装を加速させ、人口減少・少子高齢化で限られた資源（ヒト・モノ・コト）をモビリティで繋ぎ、持続可能な都市を目指し取り組みを進めている。

現在、浜松市では、このドローン航路を利用し、遠隔地への医薬品の配送や災害時の被害状況把握、インフラ点検（河川の巡視・橋などの点検）を展開している。この取り組みは安全性の確保などの課題もあるが、過疎化の進む本市において、今後の参考となる視察となった。